

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成13年7月23日 第17報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis incerta</i> *	20		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	10		
(藍) <i>Chroococcus minutus</i> *	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	60		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	100		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	40		
(緑) <i>Oocystis sp.</i>	30		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	560		
(緑) <i>Scenedesmus grahneisii</i>	780		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subprorum</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	7		
(緑) その他の緑藻	80		
(藍) 藍藻綱	40	2.2	9.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	20	1.1	0.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.1	0.5
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	9.0	10.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	1540	86.5	78.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1780	総体積	1.10E+06
種類数	17	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

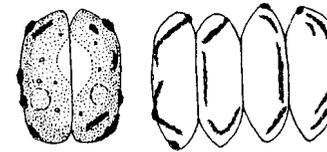
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	200

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	140

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

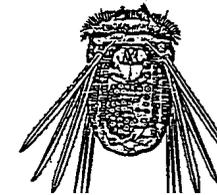
植物プランクトン第1優占種



Scenedesmus grahneisii
(イカダモ)
緑藻綱

群体は、2または時に4細胞が縦につながっている。細胞表面のいぼ状突起は、細胞の端に集まって、縁のようになっている。池、湖、大河のプランクトン中に、まれに見られる種である。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント:

植物プランクトンはイカダモの一種であるセネデスムス グラネイシが多かった。この種は近年見られるようになった種で、これまで大きな細胞数となったことはなかった。